ピアノについて

ピアノは1709年にイタリアの、ハープシコードせいさくしゃバルトロメオ・クリストフォリによって発明され、彼は「クラヴィチェンバロ・コル・ピアノ・エ・フォルテ」と命名しました。「ピアノ・エ・フォルテ」、これはもちろん弱音と強音をあらわし、この楽器のとくしつを命名したものでした。
ピアノは、えんそうするためにちょくせつ指でけんばんを叩くため、強弱を調整でき、豊かな表現力を持ちます。 また、ピアノの音は、音域が広く、大きな音から小さな音まで、豊かな音色を持っているため、クラシック音楽からジャズ、ポップスまで幅広いジャンルで愛されています。

ピアノの種類

ピアノには大きく分けて、二種類あります。 まずは、グランドピアノやアップライトピアノなどの、ハンマーで弦を叩いて音を出すアコースティックピアノ(生ピアノ)。 そして、そんなアコースティックピアノの音を録音し、スピーカーから音を出すのが電子ピアノ(デジタルピアノ)。
ピアノは、その誕生の時に、それ以前の楽器であるクラビコードやチェンバロに比べて、小さい音も大きい音も自由に出せるという意味で、ピアノフォルテと名付けられ、これがかんりゃくかされて今ではピアノ呼ぶようになったと一般に考えられています。
ピアノが誕生したのが18世紀初頭イタリア・フィレンツェです。

私は、保育園の時からピアノを初めて、良かった事があります。それは、記憶力が良くなった事と、音楽が好きになった事です。音楽が好きになったことでより学校に行くのが楽しみになりました。

NATU